

地方創生関連交付金活用事業の実施状況及び評価検証

〇地方創生推進交付金活用事業

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 事業内容	④ 実績額 (円)	⑤R6.3末における重要業績評価指標(KPI)				⑥R6.3末における実績値			
					R5指標値(目標)				R5実績値(実績)		交付金事業開始からR5事業終了時までの累計	
1	山形連携中枢都市圏DMO構築による広域観光促進事業(R4～R8)	推進	山形連携中枢都市圏7市7町が連携し地域資源等をまとめあげ、戦略的かつ一体的な観光振興と「観光地経営」の視点を取り入れた観光地域づくりを推進する。	133,456	観光消費額(宿泊客)	27,207,819 千円	34,000,000 千円	67,139,633 千円	観光情報ポータルサイト「VISITYAMAGATA」セッション数及び体験予約販売金額に係るKPIは未達であったが、在日外国人向けのプロモーションや冬のシーズンにおける訪日旅行商品造成と販売事業を行ったことにより、昨年度と比較して増となった。国内観光者とインバウンドは回復傾向にあるため、KPIは概ね順調に推移していると考え。			
2	移住定住・人材確保戦略的展開事業(R1～R5)	推進	移住希望者とのマッチングを強化する。	286,000	移住者数(県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した者)	1,000 人	1,159 人	4,047 人	移住定住ポータルサイトや移住フェアの運営、取組みを県と町で連携して行ってきた。その結果、取組みの成果が底上げされ、全てのKPIが達成された。			
					観光情報ポータルサイト「VISITYAMAGATA」セッション数	1,100,000 セッション	1,000,000 セッション	1,978,143 セッション				
					観光情報ポータルサイト「VISITYAMAGATA」体験予約販売金額	3,600,000 円	1,500,000 円	4,268,030 円				
3	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業(R3～R5)	推進	収益性の高い経営体の確立や担い手の確保に向けて、水産業者の経営基盤の強化に取り組むとともに、未利用魚などを活用した「売れる」商品開発や「漁村体験型」の商品を開発、水産物の安定供給に向けた蓄養、冷凍技術の高度化に取り組むことで、観光客や教育旅行を呼び込み、新たなにぎわいの創出を図る。	551,982	支援事業を通じたトップランナー及び準トップランナーにおける海面漁業生産額の増加	55,520 千円	集計中 千円	集計中 千円	畜養による出荷額に係るKPIについては、昨年夏の高温により多くの稚魚が死んでしまい出荷ができなかったため未達とならなかった。遊漁証の発行に係るKPIについては、暖冬小雪の影響で内陸部におけるワカサギ釣りが不振だったことにより未達となった。			
					支援事業を通じた蓄養による出荷額の増加	3,300 千円	▲ 1,218 千円	0 千円				
					養殖生産額(種苗等販売額含む)	17,520 千円	集計中 千円	集計中 千円				
					遊漁証の発行枚数の増加	1,000 千円	▲ 181 千円	▲ 691 千円				
4	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～(R3～R5)	推進	冬期間の観光誘客と恒常的な人の流れの創出、隣県及び県内からの観光客の増加を図る。	226,000	冬期間(1月～3月)の観光客数	1,329 人	573 人	2,219 人	圏域外に居住する関係人口の人数は順調に推移、それ以外のKPIは未達であるものの、アフターコロナによるインバウンド需要の回復により、昨年度と比較して減少幅は緩和していると考え。特にイルミネーションイベント「やまがた音と光のファンタジア」では、今後継続して事業を展開することで、当地域における冬期間観光のイメージ定着と誘客をより強固なものにしていくと考え。			
					道の駅の観光客数	1,742 人	827 人	3,498 人				
					圏域外に居住する関係人口の人数	684 人	691 人	2,095 人				
					宿泊者数	142,302 人	58,128 人	285,580 人				